

事業計画書

事業名	移住者のための【ゲーム型リアルツアープロジェクト】
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年6月1日 ～ 2025年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

沼津の移住者に向けて、リアル脱出ゲームのメカニズムを応用したオリジナルリアルツアーを行うことにより、沼津ならではの地域性（自然・人・習慣・文化・歴史・校区・店舗）などを活かして、沼津で暮らすための良さや魅力を遊びながらリアル体験してもらい、移住者の地域定着を支援する事業を展開しています。

移住者同士のコミュニティ形成や地域文化への参加を通じて、孤独解消や地元への馴染みを促進し、沼津市の魅力を再発見させるとともに、定住を促進します。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

多くの移住者から相談がある、移住者同士や地元民との交流ができず、地域に馴染めず孤独な現実に直面し、定住に繋がっていない状況を把握しました。より多くの移住者に参加してもらえるコストパフォーマンスの高い新しいしくみを作り、これらの問題を解決する為の取り組みを行いたいと考えました。移住前より沼津市に興味・関心を深めてもらい、沼津市の移住者が定住のきっかけをつくり、定住を促進します。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
6月 7月 8月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 しくみ検討・協賛募集・賢者探し しくみ検討・協賛募集 協賛募集・マップ・ポスター・チラシ制作・情報発信 ■ツアーイベント（案） ・参加料：1,000円 ・冒険セット内容：冒険マップ・沼住バック・沼津市ピンバッチ ・開催人数：1回/8名定員（全4回） ・所要時間：1回/2～3時間コース ※希望にて延長有 ・内容： 沼津市内の店舗（不動産・スーパー・会社等）を楽しみながら一緒に回り、移住者と地元民・支援者との交流ができる様、ゲームのメカニズムを活用し、楽しく提供する。

	■スケジュール（案）
9月	リアルツアー実施①
9月～10月	※イベント出店（詳細未定）
10月	リアルツアー実施②
11月	リアルツアー実施③
12月	リアルツアー実施④
3月	報告用集計・資料作成

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

1. 移住者同士のコミュニティ形成が強化され、孤独感が軽減される。
2. 地域への定着意欲が高まり、地元への貢献が増加する。
3. 地域の相互理解が深まり、地域社会全体の結束が強化される。
4. 沼津市の魅力が再評価され、地域経済や観光にプラスの影響を与える。
5. 定住率の向上により、地域の持続可能な発展に寄与する。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。
	30部製作・販売予定 参加者から3割以上、「ツアーに参加する前に比べさらに沼津が好きになった」という人に変える。		アンケートによって測定、数値化する。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 移住支援は、移住者が直面する孤独や適応の課題に対処し、地域の受け入れとサポートを確保することに欠かせません。移住者へのリアルツアーは、フォローしきれていない移住者へのサービス向上に繋がるだけでなく、地域住民とのコミュニケーションを促し、地域の魅力を再発見するきっかけとなります。これにより、移住者の孤独感が軽減され、新たな繋がりが築かれることで地域社会の活性化と共生が実現されます。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 静岡県は全国でも移住者数が一位の地域であり、特に沼津市はラブライブファンによる聖地巡礼からの移住が注目されています。しかし、移住後に地域に馴染めず孤独になるケースもあり、定住に繋がっていない現状が課題です。そこで、沼津市の支援者が多く存在することを活かし、移住者と協力者（支援者）を繋げる仕組みをゲームのメカニズムを活用して提供することで、楽しく地域への参加を促進できると考えています。この取り組みは地域の移住支援者やコミュニティとの密接な連携を築き上げ、まちの活性化と地域社会の解決に貢献することが期待されます。そして、地域住民の理解を得て事業に巻き込むことができるため、地域性を活かした取り組みとなるでしょう。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 移住希望者を支援している団体は多く存在しますが、移住後の支援に特化した団体はまだありません。この課題に着目し、私たちのチームにはゲームクリエイターがおり、従来のアプローチとは異なる斬新な方法やアイデアを活用し、地域の課題に新たな視点からアプローチします。革新的なイベントや取り組みを展開し、他の地域にも示唆を与えることで、移住者の定住を促進し、地域社会の活性化に貢献することを目指します。この独創的なアプローチにより、移住者の支援に新たな可能性を開拓し、地域課題の解決に挑戦します。

<p>実現性</p>	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 2023年に移住希望者向けに沼津クエストを実施し、多くの移住者から相談が寄せられました。移住者同士や地元民との交流が不足し、地域に馴染めず孤独な現実が浮き彫りになり、定住に繋がっていない状況を把握しました。この課題に対処するため、現地のニーズやリソースを考慮し、実践的かつ効果的なプログラムを展開します。地元民との協力を得て、実現可能な目標を設定し、資金やスケジュール、法令順守に留意した計画を立案します。予算や効果が適正であり、関係者との調整にも問題がないように、十分な配慮を行います。</p>
<p>発展性</p>	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 個人的な協力や支援の声をいただいております。個人の協賛も募っていきます。さらに、不動産会社や職業支援会社などの協力を通じて、移住に欠かせない支援を提供しています。この取り組みが話題になり、多くの移住参加者が参加する前よりも「沼津が大好きになった！」という声を広め、地域の魅力をより多くの人々に伝えていきます。また、『移住者にやさしい街、おもてなしの街、沼津！』を目指し、参加者の声を拡散することで、地域の発展を促進します。さらに、『沼津ツアー株式会社』の設立を通じて、この活動をより一層拡大し、継続的な取り組みを行ってまいります。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>次年度以降の活動予定として、まずはツアー内容の拡充を進め、移住者ツアーといえば『沼津』という認知を日本中に広める。この活動を継続するために、利用した移住者の方からのフィードバックを受け、さらなる改善や充実を図ります。また、市民と移住者との繋がりを深めるプロジェクトを展開し、地域コミュニティの強化に努めます。さらに、2027年を目標に沼津をテーマパーク化する取り組みを開始します。これにより、沼津の魅力やおもてなしの文化を体験できる場を提供し、観光客や移住者の訪れを促進します。このテーマパーク化プロジェクトは、地域経済の活性化や地域の魅力向上に貢献し、沼津の発展に向けた一大プロジェクトとなることを目指します。</p>

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。</p> <p>前回の移住希望者向けツアーイベントでは、多数の移住者の参加がありました。しかし、その中で移住者同士や地元民との繋がりが不足していることが課題となるケースが多いことを認識しました。参加者からのフィードバックを受け、一人での参加が難しいとの声もあり、同行して複数人で回るツアーに変更するなど、改善点を把握しました。今後は、移住者の定住支援が沼津市の人口増加につながるという認識から、移住者向けのリアルツアーを実施することに重点を置きます。さらに、移住者同士や地元民との交流を促進するための取り組みを強化し、より多くの参加者が地域に馴染み、定住に繋がる環境を整えることを目指します。また、参加者からのフィードバックを受け、今後のツアーの改善点やニーズに対応するためのシステムを構築し、より満足度の高いプログラムを提供してまいります。</p>
